

普及啓発施策

全国水生生物調査

川の中にはさまざまな生きものが住んでいます。この調査は、川に住んでいるサワガニやトビケラなど、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。また、子どもから大人までだれでも簡単にできることから、全国で毎年調査が行われています。



水環境の保全を推進するためには、住民の協力、自発的な行動が必要不可欠であり、そのための動機付け支援を行っています。

こどもホタルレンジャー

ホタルの子どもが楽しく暮らせる川や湖を守る活動を行っている子ども達を「こどもホタルレンジャー」と名付け、平成16年度から「こどもホタルレンジャー」の活動事例を募集し、全国の代表的な活動を環境大臣が表彰してきています。水環境保全活動のさらなる普及を目指しています。



快水浴場百選

水と親しむことのできる貴重な水辺である水浴場について、水質や交通の便、環境教育への取り組み等、幅広い観点から評価し、100の快水浴場を選定。

瀬戸内月間

瀬戸内海環境保全月間は、6月の1か月間、瀬戸内海の環境保全思想の普及及び意識の高揚を目的に行われている。期間中には、瀬戸内海の沿岸13府県において、研修会・講演会の開催、海浜等の清掃活動、ポスターの配布等が行われている。

名水百選

古くから地域住民の生活にとけ込み、住民自身の手によって保全活動がなされてきた身近で清澄な水を再発見するとともに、これを広く国民に紹介するものとして、全国の湧水や河川の中から名水百選を選定し、全国でシンポジウムを開催している。